

2700地区の危機管理について



2024-2025年度 地区研修・協議会



Crisis
Management
Committee

2024-2025年度 危機管理委員会 (CMC)

第2700地区における危機の定義



第2700地区、地区内外のロータリークラブ、ロータリアンにとって、「**好ましくない事態のすべて**」を危機管理上の「**危機**」とする。

但し、ロータリークラブ内、あるいはロータリアン相互間の人的・内的諸問題は除く。

危機管理とは



「時と場所を選ばず思わぬ形で発生する危機（**緊急事態**）を予知・予防・減災のための対策を講じ、また万が一が発生しても、素早く的確な対応で被害の拡大を極限に抑えるための方策（**クライシス・マネジメント**）を日常から講じておく事である。

ロータリーにおける危機管理の範疇の変化



従来の危機管理は国際青少年交換学生をはじめ青少年奉仕プログラムにおける青少年保護（ハラスメント、虐待等）への対応が中心であった。

近年は事故、犯罪、自然災害、疫病蔓延等広範への対応となってきたる。

青少年保護については青少年交換学生のみならずローターアクト、インターアクト、米山奨学生、RYLA、財団学友に参加する青少年（年齢制限なし）も保護されなければならない。

危機の種類



- ①自然災害による危機（予測しにくい）
- ②人的な要因で起こる危機（セクハラ、事件・事故等）
- ③その複合で起きるもの
（自然災害時の人的ミスによる住宅浸水等）

危機について承知しておくべき事項



- ①危機は常に潜んでいる
- ②危機は常に突然訪れる
- ③危機は常に私たちの創造を超えてくる
- ④危機に直面すると、人はすぐに反応できない
- ⑤危機には必ず前兆がある
- ⑥対応が遅れれば被害は拡大していく
- ⑦危機管理は常日頃より、自らが行う

想定される危機 RI 想定世界基準編



- ・ 事故 . . . 交通事故、スポーツによる怪我、火災
- ・ 身体的健康における緊急事態 . . . 感染症の流行、持病悪化による入院、薬物やアルコールの過剰摂取
- ・ 精神的健康における緊急事態 . . . 各種ハラスメント、メンタルヘルス
- ・ 自然災害 . . . 山火事、地震、津波、台風
- ・ 犯罪や暴力事件 . . . 暴行、強盗、万引き、暴動、詐欺等の事件
- ・ 政治的、社会的不安定 . . . 反乱、革命、デモ、テロ、戦争
- ・ 行方不明、死亡 . . . 拉致、誘拐、人質、殺人、自殺

日本で想定される危機の対象



自然災害・・・地震、津波、台風、大雨、洪水等

パンデミック・・・ウィルス性感染症の大流行

ハラスメント・・・嫌がらせ、いじめ（言葉、身体的）

個人情報流出・・・SNS拡散（写真）、デジタルタトゥー

その他・・・ロータリアンとしてのモラルの逸脱

クラブでの危機管理委員は？



RIの要請により2700地区では2020年度より「**好ましくない事態のすべて**」の発生を予防しクラブと地区の連携を確実にするために、地区内全てのクラブに「**危機管理委員**」を常置配置することに決定した。

クラブの危機管理委員は、当該年度の**クラブ幹事**がその任につく事とする。

危機を想定しておくべきクラブ事業



社会奉仕活動 ・ ・ ・ 地域での奉仕活動や啓蒙活動

青少年交換留学 ・ ・ ・ 長期及び短期の海外への交換留学事業

インターアクト ・ ・ ・ 高校生（アクター）の社会奉仕活動

ローターアクト ・ ・ ・ 18歳以上の社会奉仕活動

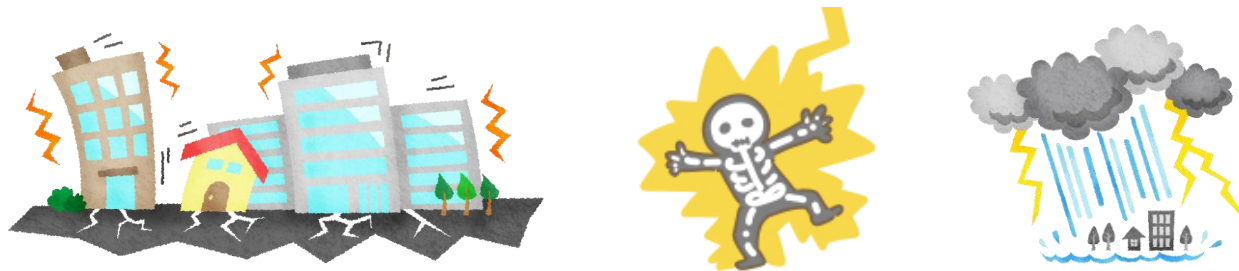
米山留学生 ・ ・ ・ 私費外国人留学生に対する支援

クラブ内交流 ・ ・ ・ 会員旅行または仲間内での交流、情報管理

社会奉仕活動中に想定される危機



自然災害 ・ ・ ・ 地震、落雷、ゲリラ豪雨 など



事故 ・ ・ ・ 交通事故、遭難事故、水難事故、火災事故など



青少年交換留学に想定される危機



パンデミック・・・ウィルス性感染症への罹患



海外での事故・・・交通事故、飛行機事故など



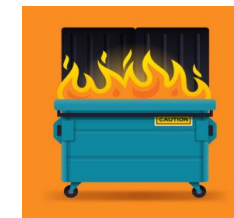
差別・・・人種差別、宗教差別など



インターアクト活動中に想定される危機



社会奉仕活動中に想定される危機と同様の自然災害、事故



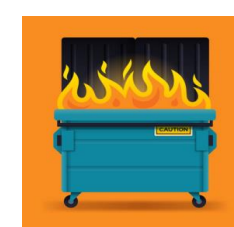
ハラスメント・・・パワハラ、セクハラ

犯罪・・・盗撮、性犯罪

ローターアクト活動中に想定される危機



社会奉仕活動中に想定される危機と同様の自然災害、事故



ハラスメント・・・セクハラ、パワハラ、アルハラ

犯罪・・・盗撮、性犯罪



米山留学生との交流に想定される危機



差別・・・人種差別、宗教差別など



ハラスメント・・・セクハラ、パワハラ、アルハラ

犯罪・・・盗撮、性犯罪



クラブ内で想定される危機



各種ハラスメント

情報漏洩・セキュリティ



事件と発展した事例①



〇〇ロータリークラブ元会長ら4人が強制わいせつ疑い 緊急事態宣言中に会食、接客お酌女性の体触る



接客をしていた女性2人にわいせつな行為をしたとして、
〇〇県警捜査1課と〇〇署は12日、強制わいせつの疑いで、
同県〇〇市、不動産賃貸業の男(71)ら40~70代の男4人を逮捕した。

他に逮捕されたのは、いずれも会社役員で、〇〇市の男(61)、
〇〇市の男(62)、同県〇〇町の男(45)。4人は〇〇ロータリークラブの会員。
3人は過去に会長経験があるという。

※事件後、当該クラブは、1年間の活動休止。現在は、活動を再開している

事件と発展した事例②



(2021/6/14ネットニュース記事より)

24年以上にわたって知人ら62人から12億円余をだまし取ったとされる〇〇市の元郵便局長がついに逮捕です。

〇〇県警は14日午後、〇〇郵便局の元局長を詐欺の疑いで逮捕しました。

取材記者：「〇〇容疑者は知人や自身が所属していたロータリークラブの会員らに対し、郵便局の信頼を悪用して言葉巧みに勧誘し、金をだまし取っていたということです」。

※元郵便局長には、懲役8年の実刑判決が言い渡されました

ゼロ容認方針

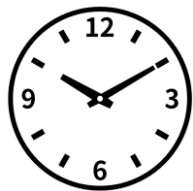


ゼロ容認方針（ゼロ・トレランス）

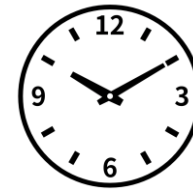
軽微な規律違反であっても寛容せず、厳しく罰することで、より重大な違反を未然に防ごうとするもの。
セクハラや虐待の申し立ての報告があった場合、報告を受けてからその**真偽や重大性、刑事上の事件性**があるなしにかかわらず、**72時間以内にRI**に報告しなければなりません。



72時間ルール



72時間ルール



ゼロ容認方針とは意を別にしますが、RIに報告すべき重大な事故（死亡事故等）や重篤な疾病等の発生した時にも、関係するすべての学生たちの保護、安全確保、その後のケア等の為に**72時間以内にRI**に報告する必要があります。



虐待&ハラスメントを防止し、万が一に発生した時の地区としての対応の仕組み



- ①地区およびクラブの方針・申し立てと報告の手順の作成
- ②ボランティア誓約書の取得
- ③危機管理委員会の設置（世界共通の組織）と緊急連絡網の整備
- ④賠償責任保険に加入＝RIJYEMの人格権特約付き賠償保険に加入
- ⑤危機管理資金として米貨5万ドルの危機管理対応資金を準備

国際ロータリー第2700地区 報告体系

ゼロ容認方針

該当の場合は72時間
以内にRIに報告

危機事
案発生

事件・事
故・災害・
政変等

地区内各
ロータリークラブ
クラブ幹事
(危機管理委員)

地区内各委員会

危機管理委員会

ガバナー

RI

広報・公共イメージ
委員会委員長

地区幹事

警察

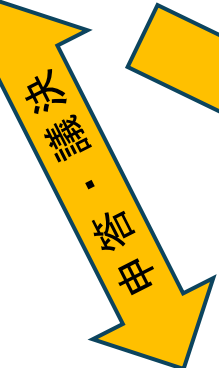
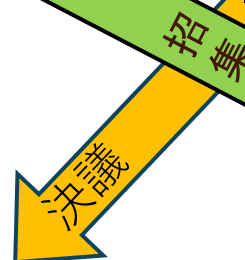
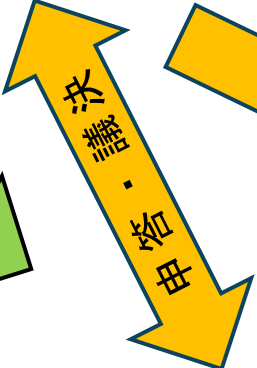
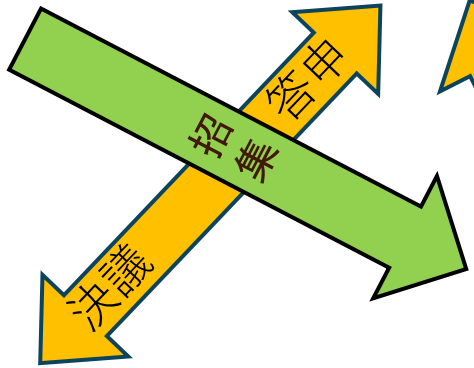
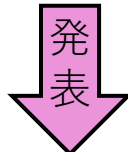
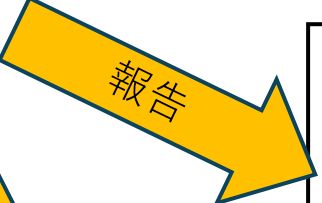
報道機関等
外部発表

会員&クラブ

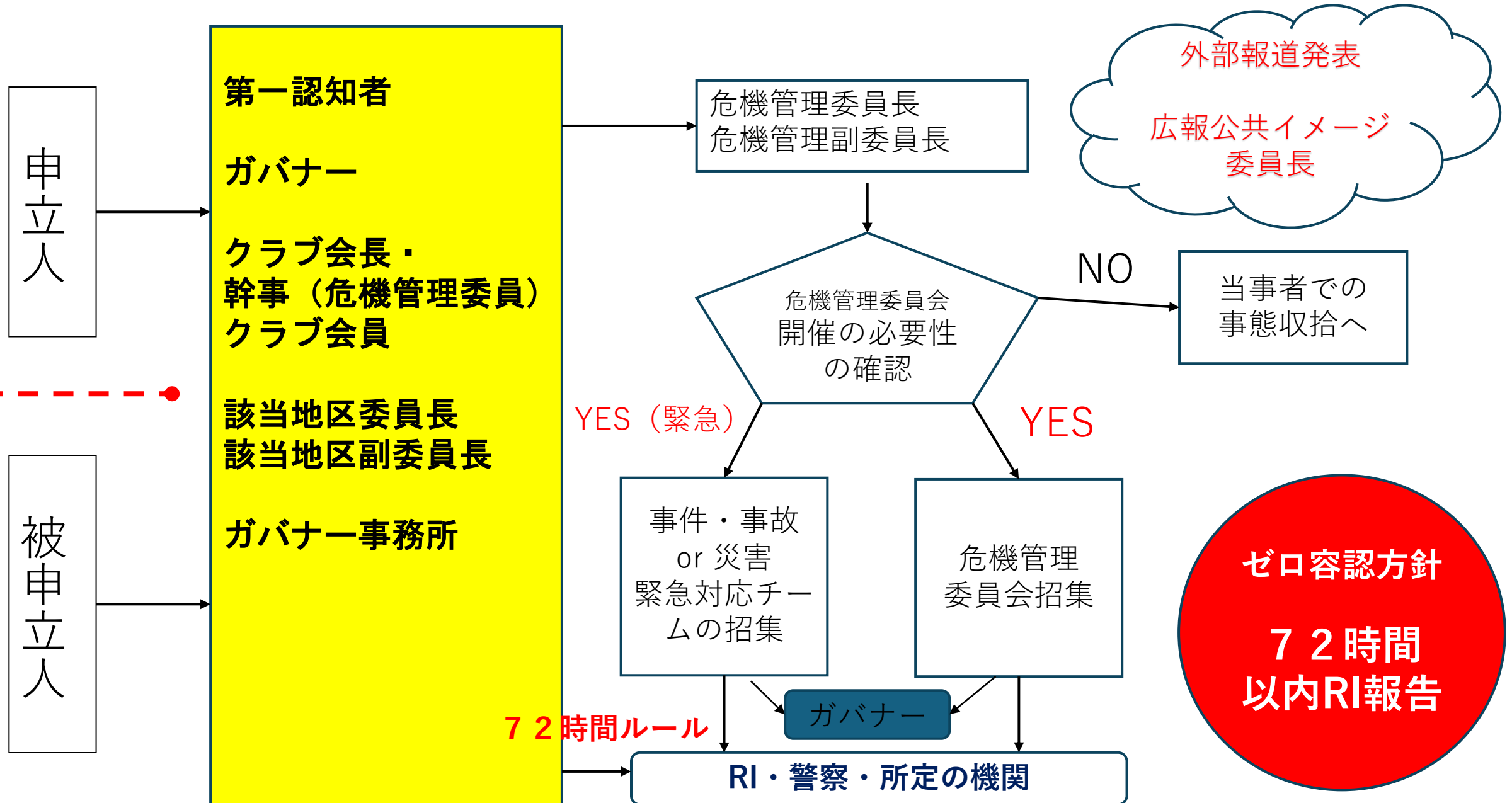
緊急対応チーム
事件・事故

OR

緊急対応チーム
災害



国際ロータリー 第2700地区 緊急連絡網



ボランティア誓約書の取得について



日本は無犯罪証明書が発行されません。これはその証明書の代わりになるものです。

2700地区ではインターアクト、ローターアクト、米山奨学生、RYLA、財団学友に関係する方々に青少年奉仕委員会と共にこの取得を推し進めていきます。

取得義務者はクラブでは会長、幹事、委員長をはじめ委員、地区委員会でも地区委員長をはじめ委員です。

取得責任者は**クラブにおいては幹事**です。

その保管管理は各クラブにて行うものとしします。効力は5年です。

第2700地区の加入賠償責任保険について



- RIJYEM経由で加入
- 一般的な賠償保険、セクハラ・人格権の侵害に伴う賠償責任保険
(人格権特約付き賠償保険)
- 被保険者は**ガバナー、クラブ会長、青少年奉仕に係わる委員**
- 支払い限度 1事故1億円、期間中1億円



傷害保険ではないため、クラブ・委員会等でリクレーション等をするときは掛け捨て保険に加入してください。

第2700地区の加入賠償責任保険について



青少年の海外旅行保険（S0型）

- ・ RIJYEM経由で加入
- ・ 青少年短期交換プログラムに適用
- ・ ローターアクトやインターアクトの海外研修時に適用
- ・ 各ロータリークラブが海外クラブと友好関係に基づく派遣時に適用



RIJYMとは？



一般社団法人国際ロータリー (RI) 日本青少年交換多地区合同機構 (RI JAPAN YOUTH EXCHANGE MULTI DISTRICT ORGANIZATION) の頭文字を集めて、RIJYEM(ライジエム)と称します。

2005年RIの通達により、青少年交換プログラムに参加する地区は法人化、賠償責任保険加入、危機管理委員会設置の3条件を満たさなければならないとのことで、2007年7月にNPO法人RIJYEC(国際ロータリー日本青少年交換委員会)として設立しました。

近年では3 4地区の青少年交換や危機管理のとりまとめだけでなく**青少年奉仕活動全般のプラットフォームとしての役割を担う**ようになりました。

青少年交換事業についての注意事項



- 2700地区では青少年交換事業は**長期交換**を基本に行っているが**短期交換**も事業として行う方針である。
- クラブ単独で行う短期交換（数日～数か月）を行う事業も短期交換事業とみなされ**青少年交換事業はRIの認定事業**でもあり危機管理上、地区**国際青少年交換委員会**を通して行うべきである。
- 今後、短期交換をされる予定がある場合は**地区の国際青少年交換委員会に相談**ください。

クラブ運営での注意事項



- ・事務局員との関係性 → ハラスメントに該当しないか、どうか？
- ・会員同士の関係性 → ハラスメントに該当しないか、どうか？
- ・クラブ内の情報管理 → セキュリティーは大丈夫か、どうか？
- ・外部との関係性 → 組織としての評価は大丈夫か、どうか？

ロータリアンの行動規範



ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような行動は避ける
5. **ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復がおこらないように確認する。（2019年1月RI理事会決定119号）**

RIの青少年保護に関する規定の要点



- ・ RIはハラスメントに対して、いかなる違反も法規適用を行う。
- ・ 申し立てが受理された時点で**全て司法機関（警察）に委ねる。**
- ・ **被疑者と被害者である青少年の接触を即座に断たなければならない。**
- ・ 被疑者が有罪と宣告され、それに関与したロータリアンについては、**クラブはその方の身分を終結（退会）させなければならない。**

これを怠った場合



RIはその身分を終結し、クラブを認証を取り消す（解散）

【まとめ】

危機は必ず訪れるものである

予兆を捉え予防に徹する事が重要

安全と安心は自らが構築していく

危機の放置は取り返しがつかなくなる

ロータリーは特別ではない

ご清聴ありがとうございました。